

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 藤枝市地域公共交通会議

平成20年3月5日設置

フィーダー系統 令和元年6月25日 確保維持改善計画策定

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>計画に基づき事業を実施するとともに、目標に満たない路線については利用状況を分析し、事業を実施するようお願いします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、利用者が減少したため、下記の対策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①一部の車両を除き飛沫感染防止シート等を設置し、感染症対策を実施</li><li>②志太温泉線では、便数の適正化を実施（5/7）</li><li>③乗合タクシーでは、密による感染を避けるため、1車両の乗車定員を2名までとし、3名以上は、増便対応とした。また、タクシー事業者が実施する感染症対策に対し、市が一部を補助する事業を実施した。</li></ul>	<p>引き続き利用状況を分析し、事業を実施する。</p>

## ■藤枝市の地域公共交通の現状

**地域特性** 藤枝駅周辺・藤枝地区は市街地、その周辺は郊外地、北部地区は中山間地で市域の7割を占める

**主要施設の市役所、JR藤枝駅、市立総合病院が分散**

**概要** 民間路線バス8路線、市自主運行バス5路線、乗合タクシー3路線、JR鉄道駅1駅

### 取組背景

平成13年～ 民間路線バスが撤退、市自主運行バスを導入

平成21年～ **藤枝市地域公共交通総合連携計画**を策定

平成25年～ 乗合タクシーを導入

平成29年～ **藤枝市地域公共交通網形成計画**を策定

## ■藤枝市地域公共交通網形成計画（平成29年6月策定）

### 方針

**～誰もが快適に移動できるまち ふじえだ～**

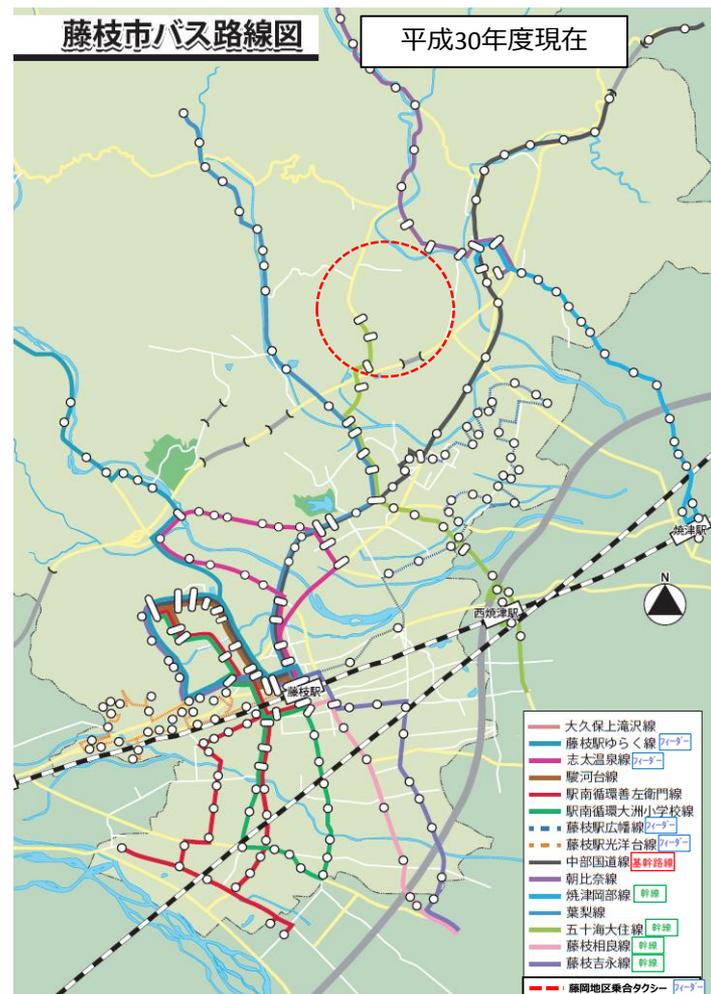
**地区拠点から都市拠点へアクセスできるネットワークの形成**

### 期間

平成29年6月～平成33年3月

### 目標

- ① **ふじえだ型コンパクトシティ+ネットワークの構築**
- ② **利用しやすい環境整備による利用促進**
- ③ **多様な関係者の連携による公共交通の確保**



### ■ 確保維持計画に記載した具体的な取組み (主なもの)

#### バスマップ・時刻表の配付

- ・バスマップ時刻表やポケット時刻表を作成し、市内全世帯・新規転入者等へ配付。



#### ICTを活用した情報提供の充実

- ・藤枝駅にバスロケと連動した電子表示機を設置 (駅北3か所、駅南1所)



#### バス利用者に向けた意識啓発

- ・高齢者に対し、出前講座を実施。



#### 公有民営方式車両購入事業を活用したノンステップバスの貸出

- ・公有民営方式車両購入事業を活用して購入した低床バス2台を民間バス事業者へ貸し出し。



↑主に「藤枝吉永線」を運行  
主に「志太温泉線」を運行→

市の魅力をイメージしたラッピングを施行!!



#### 高齢者の免許返納の促進

- ・運転免許証自主返納者に民間路線バス券 (1万円分)、タクシー券 (1万円分)、市自主運行バス無料乗車券のいずれかを配付。
- ・市内自動車学校と連携し、高齢者の講習時にモビリティマネジメントのリーフレットを配付。



## ■ ICTを活用した乗合交通の実証実験

### 1 趣旨・目的

- ・ ICT技術を活用して乗合の効率化を検証（スマホ予約・運行ルート最適化）。
- ・ 有料運行による民間事業の実現可能性や定額乗り放題プランによる需要喚起について検証
- ・ 対象エリアの公共交通ニーズも確認。

### 2 実証実験の概要

タクシー車両を利用し、病院やスーパーなど日常の利用の多い指定場所と自宅間を乗合で運行。

- ・ 実施期間 令和2年9月28日（月）～11月30日（月）※土・日・祝を除く
- ・ 運行時間 午前8時～午後1時（時刻表あり）※前日までに予約
- ・ 対象者 実施エリア地区の居住者（事前登録が必要）
- ・ 利用料金 1人→1乗車（片道）500円 1人→2週間3,000円（定額乗り放題プラン）
- ・ エリア ①音羽町・茶町・谷稲葉エリア、②東町エリア

### 3 結果

	音羽町・茶町（木町）・谷稲葉	東町
登録者数（人）	40	26
延べ利用者数（人）	173	6
運行便数（便）	103	6
予約方法（電話）	167	1
予約方法（アプリ）	6	5



- ・ 説明会の参加者や本実証実験の登録者は高齢者が多く、アプリよりも電話での予約が多かった。
- ・ 今後は、アンケート調査を実施し、事業内容の検証を行う。

## ■地域内フィーダー系統路線の評価

地域公共交通網形成計画のうち「路線バス利用者数や乗合タクシーの利用者数」を指標としており、利用者数1,407千人（H27年度実績）維持の目標を達成するため、そのうちフィーダー系統へ目標値を割り振りを行っている。

路線名 (路線バス)	利用者数 (人/年)			収支率 (%)			評価
	目標	実績	R1実績	目標	実績	R1実績	
藤枝駅ゆらく線 (吉田観光(株))	31,310	21,315	30,181	23.0	15.4	18.3	C
志太温泉線 (しずてつジャ ストライン(株))	89,290	82,869	101,848	-	-	-	B

路線名 (乗合タクシー)	利用者数 (人/年)			乗合率 (人/便)			評価
	目標	実績	R1実績	目標	実績	R1実績	
藤岡地区乗合タクシー (志太交通(株))	1,810	2,212	2,515	1.62	1.55	1.63	A
藤枝駅広幡線 (静鉄タクシー(株))	2,790	3,197	3,691	1.61	1.49	1.60	A
藤枝駅光洋台線 (キングタクシー静岡(株))	2,480	2,382	3,571	1.61	1.45	1.65	B

※目標のうちの1つが達成できなかった場合は、評価ランクを1つ下げている。ただし、施策等でやむを得ない場合については、評価ランクを据え置きとする。

### ○目標達成状況についての考察

- ・全体として、**新型コロナウイルス感染症**の感染拡大に伴い、利用者数・収支率が減少した。
- ・志太温泉線については、利用者の減少に伴い、**便数の適正化を実施** (5/7～) した。
- ・乗合タクシーは、1車両の**乗車定員を2名までとし、3名以上は、増便対応 (7/1～)** としたことで乗合率が低下した。
- ・タクシー事業者が実施した**感染症対策に対し、市が経費の一部を補助**する事業を実施 (4/1購入分～)。

### ○今後の方針 (令和2年12月22日の藤枝市公共交通会議にて協議)

- ・引き続き感染対策を実施し、利用者の安全確保に努める。
- ・市内企業等にバスの利用啓発を行い、利用者増加を図る。
- ・利用者アンケート等により利用者ニーズを把握し、運行内容の改善を検討する。

## 公共交通に対する課題を把握するため、各種調査を実施。

調査の種別	調査の内容
市民アンケート調査	<p>【目的】 利用状況、需要、将来の方向性等を調査し、ニーズや意向を把握することで、今後の施策の根拠とする</p> <p>【概要】 市内居住者3,000名（16～85歳）を対象に公共交通に関するアンケート調査を実施。</p>
利用者アンケート調査	<p>【目的】 利用者の利用状況・ニーズや意向を把握することで、今後の施策の根拠とするため</p> <p>【概要】 路線バス利用者に対し、聞き取り調査を実施</p>
庁内関係各課ヒアリング	<p>【目的】 各課が業務上抱える課題等を共有するため</p> <p>【概要】 庁内関係各課に対し、ヒアリング調査を実施。</p> <p>【関係各課】 地域包括ケア推進課、都市政策課、教育政策課、商業観光課、中山間地域活性化推進課、ICT推進室、自立支援課、中心市街地活性化推進課、交通安全・地域安全課・環境政策課</p>
事業者ヒアリング	<p>【目的】 交通サービスを維持するうえで供給者側からの問題点を把握するため</p> <p>【該当】 路線バス・タクシー事業者に対し、ヒアリング調査を実施。</p>

### 市民アンケート調査

- 自分の運転や誰か移動をお願いできる等現状として、公共交通に頼らなくても移動できる人が多い。
- スマホでの運行情報の検索等利便性の向上が求められている。
- 感染症の拡大により**不特定多数と方と同乗することに敏感**になっている
- 公共交通維持の在り方について、**4割以上の人から「無条件で維持するべき。」**との回答。

### 利用者アンケート調査

- 本数を増やしてほしい。使いたい時間に便がない。
- 路線バスがなくなるとは、困るのでなんとか維持してほしい。

### 庁内関係各課ヒアリング

- 路線バス事業に対する**公的負担額が増加**。
- 立地適正課計画を策定（H30年3月）**との連携・整合**が必要。
- 高齢化社会に向けた**高齢者の移動支援や買い物支援の重要性が増している**。
- 地域住民の運転ボランティアが、移動が困難な高齢者を輸送する（地域互助の交通）**「出かけっCAR」の支援を開始**（R1年6月開始）。
- シェアサイクル（H30年3月開始）について、サイクル&ライドの観点から利用の多い停留所近くにステーションを設置する等公共交通との連携を検討。

### 事業者ヒアリング

- **乗務員の担い手不足の問題は、深刻化**。
- 通勤・通学利用のほか、特に大学生の利用がリモート授業や休校により減少。

## 藤枝市地域公共交通網形成計画(平成29年6月策定)

既存路線の確保・維持

改善

【現状】

- ・高齡化等による様々な移動ニーズへの対応
- ・既存の路線網における公費負担の増加
- ・バス・タクシーの乗務員の担い手不足

## 藤枝市地域公共交通計画(素案作成中)

都市拠点と地区拠点を結ぶネットワークを確保！  
地区内は、様々なネットワークの移動を検討！！

### ①既存の公共交通にとられない公共交通の確保

【例】需要に応じた出掛けっCarの拡大、企業バスの活用 等

### ②新たなまちづくりの考え方との連携

【例】立地適正化計画（旧市街地総合再生基本計画事業、高田工業団地・クリーンセンターの開設、道の駅構想等）との連携 等

### ③飛躍的に向上した新たな技術の活用

【例】自動運転技術・次世代運行サービスの研究 等

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年12月22日

協議会名： 藤枝市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
吉田観光(株) 藤枝駅ゆらく線	<p>筈の木橋－金吹橋・藤枝市立総合病院－藤枝駅前</p> <p>筈の木橋－金吹橋－藤枝駅前</p> <p>瀬戸谷温泉ゆらく前－金吹橋・藤枝市立総合病院－藤枝駅前</p> <p>瀬戸谷温泉ゆらく前－金吹橋－藤枝駅前</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飛沫感染防止シートを運転手と乗客の間や乗客間に設置した。</p>	<p>A</p> <p>日数／運行回数 ①計画：239日／478.0回 実績：239日／478.0回 ②計画：363日／730.5回 実績：362日／727.5回 ③計画：239日／717.0回 実績：239日／717.0回 ④計画：363日／974.0回 実績：362日／970.0回</p> <p>運行回数未達の理由 令和元年10月12日の台風19号の接近に伴い、終日運休となったため。</p>	<p>C</p> <p>目標 利用者数31,310人/年に対し、実績21,315人/年。 収支率23%以上に対し、実績15.4%。</p> <p>理由 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、特に沿線企業や施設前の停留所において利用者が減少した。 また、利用者の減少と委託料の増加に伴い、収支率が減少した。 令和2年1月24日～3月27日まで瀬戸谷温泉ゆらくが耐震工事のため、休館となり利用者数が減少した。</p>	<p>○引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を実施し、利用者の安全確保に努める。</p> <p>○市内企業等にバス利用啓発を行い、利用者増加を図る。</p> <p>○瀬戸谷温泉ゆらくへの誘客を市商業観光課や中山間地域活性化推進課と協力して取り組んでいく。</p>
しずてつジャストライン(株) 志太温泉線	<p>藤枝駅前－藤枝市役所・金吹橋・瀬古－藤枝駅前</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、利用者数が減少したため、便数の適正化を行うため、令和2年5月7日より減便を実施した。</p>	<p>A</p> <p>日数／運行回数 計画：360日／8,634.0回 実績：359日／8,327.0回</p> <p>運行回数未達の理由 令和元年10月12日の台風19号の接近に伴い、終日運休となった及び新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年5月7日より減便したため。</p>	<p>B</p> <p>目標 利用者数89,290人/年に対し、実績82,869人/年。</p> <p>理由 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者が減少した。「谷稲葉入口」バス停の利用者数増加が見られる。これは、「生活科学検査センター」が令和元年10月に開所及び「環境衛生科学研究所」が令和2年7月に開設され、通勤利用が増えたためである。</p>	<p>○引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を実施し、利用者の安全確保に努める。</p> <p>○「環境衛生科学研究所」や「生活科学検査センター」及び市内企業等にバス利用の周知啓発を行い、利用者増加を図る。</p>

<p>共同運行(志太交通(株)、静鉄タクシー(株)、藤枝タクシー(株)、キングタクシー(株)) 藤岡地区乗合タクシー</p>	<p>藤岡地区－大手・蓮華寺池公園入口・千才バス停－藤枝市立総合病院</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年7月1日より密による感染リスク避けるため、1車両の乗車定員を2名までとし、3名以上の場合は増便対応とした。 ②令和2年4月1日以降に行ったタクシー事業者の感染症対策に対し、市が補助を行う事業を実施し、利用者の安全性確保に努めた。</p>	<p>A 日数／運行回数 計画：241日／1,120回 実績：241日／1,428回</p>	<p>目標 利用者数1,810人/年に対し、実績2,212人/年。 乗合率1.62人/便に対し、実績1.55人/便。 A 理由 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年7月1日より密による感染リスクを避けるため、1車両の乗車定員を2名までとし、3名以上は増便対応としたため、乗合率が減少した。</p>	<p>○引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を実施し、利用者の安全確保に努める。 ○利用者アンケート等により利用者ニーズを把握し、運行内容の改善を検討する。</p>
<p>共同運行(志太交通(株)、静鉄タクシー(株)、藤枝タクシー(株)、キングタクシー(株)) 藤枝駅広幡線</p>	<p>藤枝駅前－平島・田中－水守</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年7月1日より密による感染リスク避けるため、1車両の乗車定員を2名までとし、3名以上の場合は増便対応とした。 ②令和2年4月1日以降に行ったタクシー事業者の感染症対策に対し、市が補助を行う事業を実施し、利用者の安全性確保に努めた。</p>	<p>A 日数／運行回数 計画：241日／1,740回 実績：241日／2,143回</p>	<p>目標 利用者数2,790人/年に対し、実績3,197人/年。 乗合率1.61人/便に対し、1.49人/便。 A 理由 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年7月1日より密による感染リスクを避けるため、1車両の乗車定員を2名までとし、3名以上は増便対応としたため、乗合率が減少した。</p>	<p>○引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を実施し、利用者の安全確保に努める。 ○利用者アンケート等により利用者ニーズを把握し、運行内容の改善を検討する。</p>
<p>共同運行(志太交通(株)、静鉄タクシー(株)、藤枝タクシー(株)、キングタクシー(株)) 藤枝駅光洋台線</p>	<p>瀬戸－三軒屋・光洋台－藤枝駅前</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年7月1日より密による感染リスク避けるため、1車両の乗車定員を2名までとし、3名以上の場合は増便対応とした。 ②令和2年4月1日以降に行ったタクシー事業者の感染症対策に対し、市が補助を行う事業を実施し、利用者の安全性確保に努めた。</p>	<p>A 日数／運行回数 計画：241日／1,540回 実績：241日／1,646回</p>	<p>目標 利用者数2,480人/年に対し、実績2,382人/年。 乗合率1.61人/便に対し、実績1.45人/便。 B 理由 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年7月1日より密による感染リスクを避けるため、1車両の乗車定員を2名までとし、3名以上は増便対応としたため、乗合率が減少した。</p>	<p>○引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を実施し、利用者の安全確保に努める。 ○利用者アンケート等により利用者ニーズを把握し、運行内容の改善を検討する。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年12月22日

協議会名:	藤枝市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<ul style="list-style-type: none"><li>● ふじえだ型コンパクトシティ+ネットワークの構築 地域特性に応じた公共交通サービスの提供や官民連携による効率的な公共交通の運行により、都市拠点と各地区拠点を結ぶ、効率的な公共交通ネットワークを整備する。</li><li>● 利用しやすい環境整備による利用促進 主要交通結節点の待合・乗継環境の改善や公共交通の運行情報の提供、高齢者の自家用車から公共交通への転換となる利用環境整備等を図り、公共交通を利用しやすい環境を整える。</li><li>● 多様な関係者の連携による公共交通の確保 公共交通の現状を市民に情報提供し十分理解してもらうとともに、公共交通への市民参画を推進し、また地域、交通事業者、行政の三者が協働できる組織・体制づくりを行うことで、持続可能な公共交通の確立を図る。</li></ul>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和2年12月22日

協議会名: 藤枝市地域公共交通会議

①事業の結果概要	④事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
<p>■事業内容</p> <p>①地域公共交通に関する現況調査 ②市民の公共交通利用実態及びニーズ把握 ③藤枝市地域公共交通計画(案)のとりまとめ ④協議会開催</p> <p>■結果概要</p> <p>①本市の地域特性の整理や既存の公共交通(路線バス、自主運行バス、乗合タクシー)の利用状況を整理することで、課題の洗い出しを行った。 ②市内在住者3,000名を対象に郵送又はWebアンケートを実施し、住民の移動先、時間帯、手段などを把握することで、地域全体の移動需要を整理した。 ③①～②を基に上位計画や関連計画を踏まえつつ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方について検討し、現在、素案の作成中である。 ④令和2年6月23日に地域公共交通会議にて、地域公共交通計画の策定方針について説明を行った。令和2年12月22日の地域公共交通会議にて、地域公共交通計画の骨子について説明を行った。今後は、素案を説明し、委員からの意見を反映する予定である。</p>	A	<p style="text-align: center;">事業は適切に実施されている。</p> <p>■藤枝市地域公共交通計画策定業務</p> <p>■実施時期 交付決定日以降～令和3年3月31日</p> <p>■計画に向けた方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民生活を支える都市機能として、各地区拠点と都市拠点を効果的に結ぶ「ふじえだ型コンパクト+ネットワーク」の実現や地域の互助やICT(情報通信技術)を活用した多様な交通手段を位置付けた計画とする。</li> <li>・市民アンケートや利用者、関係団体とのヒアリング等を実施することで多様なニーズを的確にとらえ、藤枝市地域公共交通会議やパブリックコメントの意見を反映し、まちづくりと連動する総合的な地域公共交通を目指すための計画を策定する。</li> </ul>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年12月22日

協議会名:	藤枝市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通調査事業(計画策定事業)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>今後の人口減少、超高齢社会に備え、藤枝駅を核とした都市拠点と地域の中心部である地区拠点を、効率的に公共交通で繋ぐ「ふじえだ型コンパクトシティ+ネットワーク」を実現させるための公共交通体系を構築することを目的とし、上位計画や関連計画との整合をはかりつつ、藤枝市公共交通計画を策定する。</p> <p>計画策定のためには、市域における地域概況や公共交通の状況等について現状を把握するとともに、交通体系の見直しに際しての、市民の移動需要を把握することが必要である。また、今回策定する計画では、持続的な公共交通として地域に定着させることを見据えていることから、路線の在り方について、地域住民の行動変容状況や利用意識について調査する。</p>